

に出で、更に哈布齊汗嶺を越えて、哈布察河に沿ひ、東南下するものを那喇特山路と稱し、同山路は海拔一萬一百尺の高所を通過するも、概ね緩傾斜なるに因り、全路乗馬し得べく、伊犁より南路に出づる最良路と呼ばれ、且つ伊犁の唯一後路に當れる、重要な山道とす。往昔準噶爾人の伊犁、哈密間を往來する、皆此路に由れりと。

寧遠城より喀喇沙爾に到る、約二百里、通例十八日乃至二十日の行程とす。予の通過せしは、那喇特嶺の連脈にして、西方約五里弱なる、海拔一萬一千七百二十尺の達哈特嶺なり。該嶺の前後二日の行程を除く外は、全く那喇特山路と同一の徑路にて、其概況は左節に之を述へん。

第六節 伊犁より喀喇沙爾に到る

一、露國總領事との會見

予の伊犁滯在中は、概ね惠遠城に在り。五月二十八日、愈々同城を出發して寧遠城(固爾扎)に向ふ。此間行程約十四里、露國式馬車に依れり。路は惠遠城を出づると共に、伊犁河の右岸に沿て上る、其左岸には錫伯人の部落相望み、右岸には纏頭回、

予が取り
し山路